

主な提出意見

- 花をテーマとした施設では、費用や手間に対して効果が薄く町内観光につながらないのではないのでしょうか。
- 「複合型RVパーク」を整備してはどうか。
■施設内容
・RVパーク ・オートキャンプサイト
・テントサイト ・炊事など
・シャワールーム ・遊歩道および植栽
・ドッグラン ・イベント会場
- 観光協会や商工会とも連携が必要。
- 四万十町らしさのある植物で計画してほしい。
- 維持管理にはボランティアに頼らない体制でおこなってほしい。
- この施設からの流れを作るのであれば既存の各施設も整備強化してほしい。
- 子供が遊べる屋内の施設をつくってほしい。
- 計画地は変更できないのですか。
- あぐり窪川ではイベントなどの時に駐車場が混雑するので、駐車場を拡げてほしい。
- お花の綺麗な遊具の充実した公園にしてほしい。
- 四万十町の入り口となる場所で施設を整備するに伴い、四万十川の入り口としても清流四万十川を感じられるように景観を蘇らせる計画を追加してほしい。
- 特設サイトの設置をして、事業の進捗状況をこまめに発信してほしい。その中で、疑問を聴ける場所、答えてくれる場所としても利用できるといい。また、SNSも活用して情報共有をおこなってほしい。
- 大正、十和地域に小さな規模でもいいので見所を作って頂き、四万十町全体をフラワーロードとして意識していただける仕組みにしてはどうか。
- 入浴施設を整備してほしい。

意見に対する町の趣旨

「複合型RVパーク」をはじめ、多くのご提案をいただきましたこと、ありがとうございます。「複合型RVパーク」については、本計画地周辺には住居も多く現状の道の駅での車中泊についても近隣の方が非常に困っている状況にあり、計画からは除外しておりますが、今後、町内で整備可能であるか検討していきます。多目的広場、管理道、水源、電源の確保など、イベント開催時の利便性を含め、観光協会や商工会とも協議しつつ今後の計画修正の中で検討してまいります。

以前に計画地で菖蒲園を設置しており、5～6月の見ごろの時期には多くの方でにぎわっていました。また、三島の菜の花や十川のツツジ園は町の代表的な風景として多くの方に親しまれており、花には一定の集客力があると考えています。しかし、維持管理に手間がかかることもあり、なお計画の中で費用対効果を考えながら慎重に検討してまいりますし、今回の計画に遊具の設置はございませんでしたが、花だけでなくそこで滞在して楽しめるよう設備についても、今後の計画修正において検討していきます。

また、本施設の計画地については、インターチェンジから近く利便性が高いこと、防災道の駅の指定を受けている広域防災の拠点となる道の駅あぐり窪川に隣接しており、有事の際に拠点の一部として活用できることから選定しています。

そのほか、ご意見にございました特設サイトの作成、SNSの活用につきましては、並行して進めています「花とみどりのまちづくり」の中で検討してまいります。

計画地の範囲



四万十町 観光交流拠点施設整備計画(案) に関する意見公募について

高速道路の延伸への対策として、道の駅あぐり窪川の後背地に設置を計画している「四万十町観光交流拠点(仮称)」の基本計画(案)に対する意見公募を10月10日から10月31日の間で行いましたので、その結果および回答の概要を公表します。

総数で60件のご意見をいただき、紙面の都合上、すべてを掲載することができませんが、結果の詳細については、四万十町公式ホームページで公開していますのでご参照ください。

計画の概要

四万十町中央ICは、現在、高速道路の終点であり、観光・運輸・ビジネスなどの目的で多くの車両に利用され、特に国道56号線沿いにある飲食店・小売店・道の駅などは、バイク等のライダーから家族連れまで幅広い層に利用されているほか、愛媛県および四万十川沿いへのアクセスにも利用されています。

しかし、四万十町中央ICから四万十町西ICまでの区間の整備工事が数年後には完成する予定で進められており、一般道路に降りずに通過できるようになることから観光客・ビジネス客の減少が危惧されます。

四万十町中央ICでの降車台数の減少が、現在ここを起点としている町内観光・町内消費に与える影響は非常に大きく、対策として四万十町中央IC付近の道の駅「あぐり窪川」の後背地約12,500㎡に観光交流拠点施設を整備し、本町に立ち寄る観光客等の維持・拡大を図ることを計画しています。

